

3. 財政改革

3-1. 財政に関すること

3-1-1. 財政健全化

No.	管理コード	対策(どうする)	20年度までの状況	あるべき姿	課題 (乖離の原因)	具体的な取り組み	所管部課 (だれが)	目標値(数値化できるもののみ)			開始 年度	目標 年度	スケジュール(年度)(いつまでに)							達成度 (20年度末)				
								開始	現在 (H21.4.1)	最終			19	20	21	22	23	24	25		26			
1	【3111-1】	中長期的な財政計画の策定	・財政健全化指標は、いずれも早期健全化基準を下回っている。 ・実質公債費比率、将来負担比率は、共に県内の市で2番目に高い状況であり、財政状況は依然として厳しい状況。	・収支のバランスを、将来にわたって黒字で維持できている。 ・無理のない計画的な借金返済ができています。 ・道路、下水道などの市民生活に必要な基盤整備事業は、確実に実施できる。 ・財政状況を市民にわかりやすくお知らせする。	・合併特例期間が終了する平成27年度以降は、交付税が大幅に減り、有利な借金である合併特例債が使えなくなる。	合併特例期間終了後も健全財政を維持できる計画の作成(ローリング)。 情報公開を積極的に行い、市民に理解を求める。	企画部 企画財務課	-	-	-	18	21	⇒		⇒									-
2	【3112-1】	財政規模を目標値として掲げ、財政計画の達成			・合併前から進められてきた下水道整備、病院整備のための借金返済が、実質公債費比率を押し上げている。	財政計画に沿って健全財政を維持する。	企画部 企画財務課	(H18決算) 352億円	(H19決算) 369億円	財政規模 (H26) 325億円	18	26	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	-
3	【3113-1】	財務書類4表(貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書)の作成及び公表			・市民に対し、資産・負債の面からの財政状況の説明が不足している	市が所有するストック(資産・負債)などの把握を行い、財務書類を作成し、市民にわかりやすく公表する。	企画部 企画財務課	-	-	-	21	継続			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	-	